

[内装小面積向き]

ジョリパット不燃  
JQ-200シリーズ  
ランダムアート仕上げ  
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社  
第二R&Dセンター  
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	ベース色 約 1.6㎡/缶  トップ色 約10.0㎡/缶
骨 材	JF-3 JF-1	寒水石3厘 寒水石1厘	20kg袋 20kg袋	約52.6㎡/袋 約 5.2㎡/袋

<主な施工道具>

- ・ ステンレスゴテ (角ゴテ)
- ・ スチロールゴテ (スタイロフォーム※のような発泡スチロールでも可)
- ・ 仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・ 刷毛
- ・ ウェス (又はスポンジ)

※スタイロフォームはザ ダウ ケミカル カンパニーの登録商標です。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

## <ランダムアート仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り (ベース色)

・ ジョリパット不燃を無希釈で0.9kg/m <sup>2</sup> となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。		
---	--	--

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り (ベース色)

配 合	JQ-200シーラ	20kg
	寒水石 3厘	2kg
	寒水石 1厘	20kg
	清 水	3ℓ
塗 布 量	約0.8kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテで寒水石3厘が転がる程度に薄く、平滑に材料を配る。	

追かけ塗り (5分以内)

### 4. パターン付け

・ スチロールゴテを円状に動かし、部分的に寒水石が転がった跡をつける。(図-1)		
--	--	--

追かけ塗り (5分以内)

### 5. 押さえ (仕上げ)

・ 仕上げゴテで表面が平滑になるよう押さえる。このコテムラが残らないようしっかり押さえる。		
---	--	--

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

6. 主材 上塗り (トップ色)

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	清 水	10%
塗 布 量	約0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	刷毛、ウエス (又はスポンジ)	
	刷毛で塗材を薄く全面塗布し、材料が乾燥しないうちにウエス (又はスポンジ) で部分的に拭き取る。(図-2)	

24時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>

- ・ ステンレスゴテで厚さ約1mm (寒水石3厘の粒径) 程度となるよう薄く均一に塗り広げる。
- ・ スチロールゴテを円状に動かし、寒水石3厘をランダムに転がす。(図-1)
- ・ きれいなステンレスゴテ (柔らかいステンレスゴテをお勧めます) にてパターンの頭を押さえ平滑に (コテ波が消えるまで) 仕上げる。

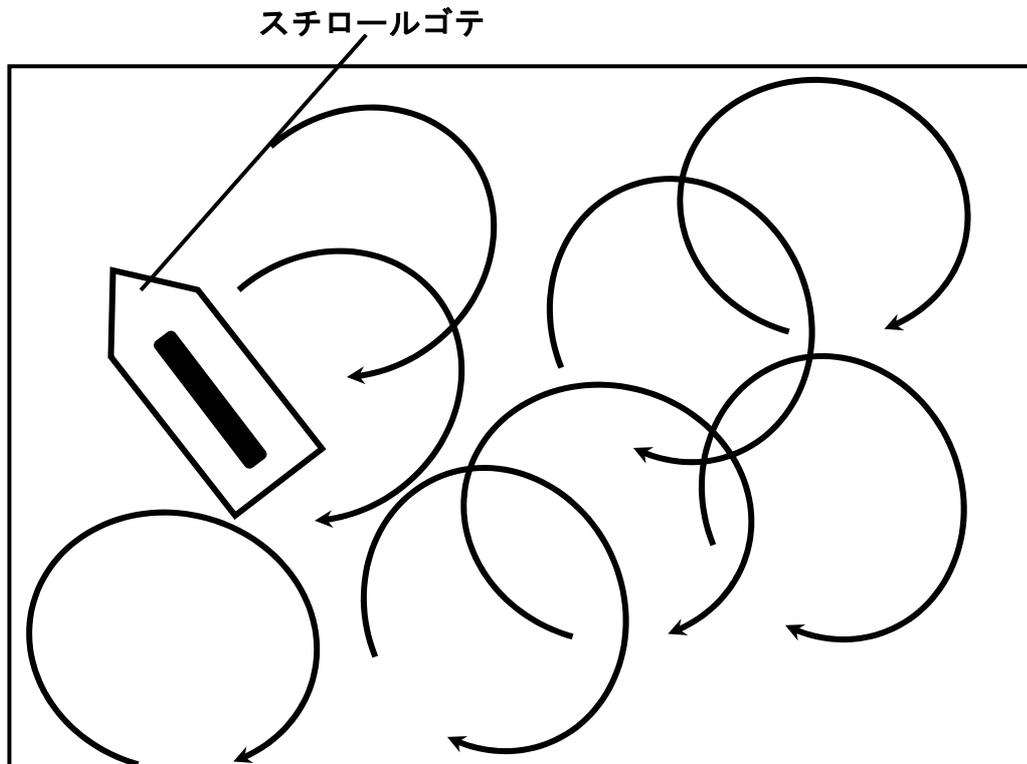
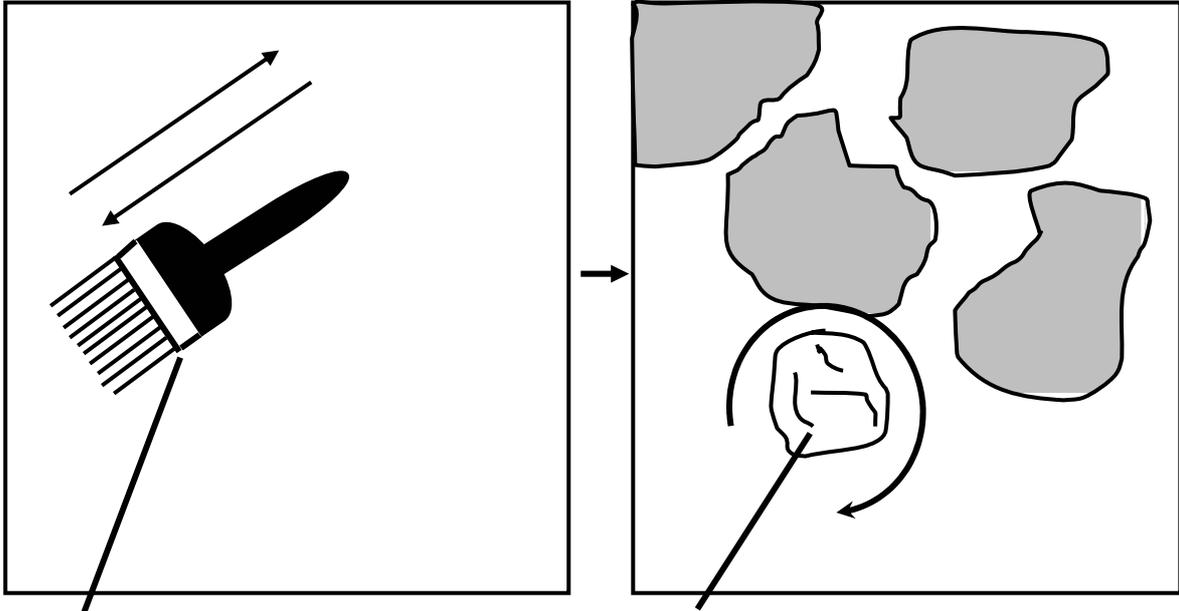


図 - 1

- ・ ジョリパット不燃を50%水希釈し、刷毛で薄く全面塗布する。
- ・ 材料が乾燥しないうちにウエスで部分的に拭き取る。ウエスはこまめに交換する。



刷毛でトップコートを一  
に塗布する。

ウエスでトップを部分的に  
除去する。

図 - 2

※ブラシ等をウエスで包んだ道具で塗材を拭き取るのも効果的です。(図-3)

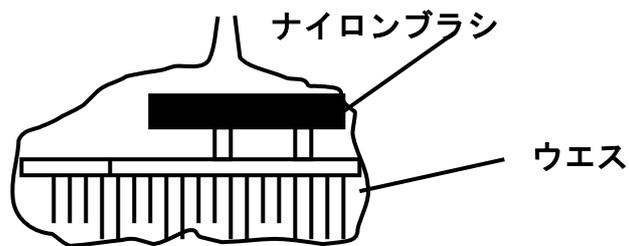


図 - 3

## <施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 塗膜が薄く下地の不陸を拾いやすい仕上げのため、下地が平滑であることを確認してから施工して下さい。(特にモルタル下地や、ボードの継目では下地に不陸が出やすいため、下地を平滑に処理した後、施工して下さい。)
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ **このパターンは作業者により仕上がりにバラツキの出やすいパターンです。塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。**

以 上

**完全にコテムラなくフラットに仕上げることはできません。**